

ページ	修正後	修正前	備考
プロローグ	<p>(_____ 藤浦洸「海の中の故郷」より)</p> <p>エキゾチックな雰囲気が、潮風の香りとともに歴史と文化、自然を感じさせてくれるまち平戸...</p> <p>古くから平戸では、海外貿易が盛んに行われ、中国や朝鮮と深いつながり<u>をもち</u>、 _____ 奈良、平安時代には遣唐使船の寄港地として、多くの若者が夢とロマンを胸に往来していました。また、1550年にはポルトガル船が入港して貿易がはじまり、 _____ これを契機に栄えて「西の都」と呼ばれ、 _____ オランダやイギリスなどヨーロッパの国々の船が行きかう国際貿易港となりました。</p> <p>そして、縄文・弥生時代からの遺跡が点在する田平、江戸時代からの町並みが残る大島、日本一の鯨組を築き上げた漁師まちである生月、これら多彩な歴史に富んだ地域がひとつになり平戸が形成されました。</p> <p>私たちのまちは、常に新しいものを受け入れ、平戸ならではの文化を創造し<u>続けています</u>。 _____ また、</p>	<p>(平戸出身の作詞家 藤浦洸「海の中の故郷」より)</p> <p>エキゾチックな雰囲気が、潮風の香りとともに歴史と文化、自然を感じさせてくれるまち平戸...</p> <p>古くから平戸では、海外貿易が盛んに行われ、中国や朝鮮と深いつながり<u>がありました</u>。奈良、平安時代には遣唐使船の寄港地として、多くの若者が夢とロマンを胸に往来していました。また、1550年にはポルトガル船が入港し、<u>貿易がはじまりました</u>。これを契機に栄えて「西の都」と呼ばれるようになり、オランダやイギリスなどヨーロッパの国々の船が行きかう国際貿易港となりました。</p> <p>そして、縄文・弥生時代からの遺跡が点在する田平、江戸時代からの町並みが残る大島、日本一の鯨組を築き上げた漁師まちである生月、これら多彩な歴史に富んだ地域がひとつになり平戸が形成されました。</p> <p>私たちのまちは、常に新しいものを受け入れ、平戸ならではの文化を創造し<u>続けてきました</u>。 _____ また、</p>	<p>「平戸出身の作詞家」は、注釈に記入。</p> <p>「...ました」が多いため調整。</p>

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	俳人の種田山頭火は、島の美しい自然に感激し「平戸は日本の公園である」と句を詠むなど、 <u>その特色ある歴史と文化、自然はやがて平戸の「宝」となり、代々この地に暮らす人の心に染み渡り、受け継がれ、いま、私たちの誇りの源となっています。</u>	俳人の種田山頭火は、島の美しい自然に感激し「平戸は日本の公園である」と句を詠みました。 <u>その特色ある歴史と文化、自然はやがて平戸の「宝」となり、代々この地に暮らす人の心に染み渡り、受け継がれ、いま、私たちの誇りの源となっています。</u>	
目次 及び 第1部	第4章 未来への <u>航海</u>	第4章 未来への <u>5つのポイント</u>	第4章タイトル変更による修正
目次	<u>平戸市</u> のプロフィール	<u>平戸市</u> プロフィール	文言の修正
1	「まちづくり未来図」では、これまでの航海を振り返りながら、「未来」という大海原への荒波を乗り越え、 <u>たしかな平戸を実現するために、</u> 私たちの進むべき針路を見定めます。	「まちづくり未来図」では、 <u>_____</u> <u>たしかな未来を実現するための誓いをたて、</u> 私たちの進むべき針路を見定めます。	2ページに現状認識、危機意識を言及するため、その前段としての文言を追加。
2	第1章 平戸市が描く未来 <u>これまで、平戸市を取り巻く社会情勢はめまぐるしく変化してきました。今後、さらに複雑化、多様</u>		章の説明文を追加。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>化していくことも予測されることから、新しい理念を共有し、長期的な視点でまちづくりを進めていかなければなりません。</p> <p>「第1章 平戸市が描く未来」では、平戸市が目指す10年後のまちの未来像と未来への想いを示しています。</p>		
2	<p>平成17年の市町村合併後に策定された「第1次平戸市総合計画」では、目指すべきまちの将来像として「ひと(HITO)響きあう 宝島 平戸」を掲げ、「やらんば!平戸」を合言葉にまちづくりを進めてきました。</p> <p>「第1次平戸市総合計画」での10年間、目標の達成や成功を収めた取組みがありますが、新たな挑戦を躊躇し、次の変革につなげられなかったこともありました。</p> <p>また、現在の平戸市は、若者の都市部への流出による人口減少・少子高齢化の波にのまれようとしており、そのことが地域コミュニティやまちのにぎわい、産業振興などにも影響を及ぼしています。</p>	<p>このまちに暮らす人々は、常に新しいものを受け入れ、挑戦し続けてきました。それらの挑戦が、いまの平戸市ならではの歴史・郷土文化を形づくってきました。</p> <p>その挑戦し続ける姿勢は、いつしかこのまちの誇りとなり、いまでも私たちに脈々と受け継がれています。</p> <p>夢にあふれ、笑顔にあふれ、幸せがあふれる豊かなまち。</p> <p>平戸市の新しいまちづくりへの夢はたくさんあります。</p> <p>市民の思い描く夢を実現できるまちを目指し、世</p>	<p>ストーリー調ではなく、危機的状況等を強く表すため全面的に修正。</p>

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>まだ見ぬ新たな困難が、今後現れることも想定されます。「いまが良ければ」「自分が良ければ」では、平戸市は時代の波とともに消えてしまいかねないのです。</p> <p>私たち一人ひとりには、次世代を担う子ども達が夢を持って未来を描くことができる平戸市をつくる責務があります。その覚悟と決意を持ち、私たちの郷土に誇り（シビックプライド）を持ち、「夢あふれる 未来のまち 平戸」を将来像として掲げ、市民の誰もがずっと住みたいと思えるまちづくりに挑んでいきます。</p> <p style="text-align: center;">やるばい！平戸！</p>	<p>代や地域を超えて手をつなぐことで魅力あふれたまちづくりを実現します。</p> <p>私たちは、先人から受け継がれてきた歴史・文化を「宝」とし、未来へと駆け上がります。なぜなら、ここに生きる私たち一人ひとりがこのまちの未来を創る主人公だからです。</p> <p>誇り（シビックプライド）を胸に、「絆」という強固な力をもって、10年後の「夢あふれる 未来のまち 平戸」を私たち一人ひとりの手で創りあげていきましょう。</p> <p style="text-align: center;">やるばい！平戸！ 私たちはこのまちを愛してやまないのだから…</p>	
3	<p>「夢」という言葉は様々な場面で使われますが、平戸市にあっては私たちのいまと未来を明るく照らす言葉であってほしいと願っています。</p> <p>平戸市がもつ「歴史」「恵み」「祈り」をさらに輝かせることでシビックプライドにつなげ、全ての市民の様々な想いを叶えることができる「夢のようなまち」となるように、という願いが込められていま</p>	<p>子どもから高齢者まで様々な夢を描くことができるまちをつくります。</p> <p>私たち市民一人ひとりの夢が平戸市の大きな夢となり笑顔があふれるよう、みんなで団結（地域コミュニティ）し、宝（歴史・文化・自然）を活かした誇り（シビックプライド）を持てるまちを目指します。</p>	2ページを修正したことによる見直し。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	す。		
3	<p><u>私たちのあふれる夢を実現し、次世代につなげるには、これまでのルールや枠にとらわれず、挑戦し続けていく姿勢が重要です。</u></p> <p><u>他のどこの地域にもない「平戸らしさ」を磨き上げ、全ての市民が明るく元気に活躍する未来を描いていけるように、という願いが込められています。</u></p>	<p><u>夢を実現できる「未来のまち」を創造するためには、市民自らできることは自ら行い、自分たちの地域は自ら創っていくという心がけが欠かせません。市民一人ひとりが平戸市のために何ができるかを考え、行動することで未来の平戸市を創ることができます。</u></p> <p><u>未来に生きる私たちが「ここに生まれてよかった」と思うことができるまちを創造するため、「宝」を未来に残し、伝え、輝かせ、選ばれ続ける未来都市を目指します。</u></p>	2ページを修正したことによる見直し。
6	<p>第2章 未来へのチャレンジ</p> <p><u>平戸市が一つとなり、新たなまちづくりに挑戦し続けていくためには、平戸市が目指すまちづくりの方向性を明確にすることが重要です。</u></p> <p><u>「第2章 未来へのチャレンジ」では、第1章で掲げた未来像「夢あふれる 未来のまち 平戸」を実現するため、3つの方向性を示しながら具体的な「まち」づくりを目指します。</u></p>	第2章 未来へのチャレンジ	章の説明文を追加。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
6①	<p>平戸市では、これまで市民にとって身近な問題を家族や隣近所、あるいは<u>地域コミュニティや行政サービスによって</u>対応してきました。</p> <p>しかし、社会が成熟し、<u>価値観が多様化するなかで、少子高齢化や都市圏への人口流出、核家族化などが進み、地域コミュニティが希薄になってきました。</u></p> <p>こうした状況にきめ細やかに対応するには、<u>行政</u>の力だけでは十分とは言えません。市民一人ひとりが新しいまちづくりの方法を知り、参加することが必要不可欠です。</p> <p><u>私たち市民がやれることを率先して行い、行政とともに「みんなで手を取り合うまち」を目指します。</u></p>	<p>平戸市では、これまで市民にとって身近な問題を家族や隣近所、あるいは<u>自治会などの多様なコミュニティが関わることで</u>解決してきました。</p> <p>しかし、社会が成熟し、<u>平戸市に住む人々の暮らしも多様化しています。少子高齢化や都市圏への人口流出、核家族化などの問題で地域コミュニティに参加する人が減っています。</u></p> <p>こうした状況にきめ細やかに対応するには、<u>これまでの行政主導の力だけでは十分とは言えません。市民一人ひとりが新しいまちづくりの方法を知り、参加することが必要不可欠です。</u></p> <p><u>ずっと住み続けたい平戸市を創造していくために、市民がやれることを率先して行い、行政とともに手を取り合ってまちづくりを進めます。</u></p>	<p>文言の修正。</p>

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
6②	<p>平戸市は時代とともに多くの異国文化を受け入れ、独自の歴史と文化を生み出し続けてきました。その歴史と文化はやがて<u>豊かな自然とともに「宝」となり、平戸市ににぎわいをもたらしました。しかし、時代の変遷とともにその輝きは失われつつあります。</u></p> <p>今後は、交通インフラの整備に伴う交流人口の拡大が予想されることから、平戸市の「宝」にさらなる磨きをかけ観光振興を図るとともに、農林水産業をはじめとした第一次産業、商工業の活性化に向けた取組みを促進します。また、積極的な企業誘致を行い、特産品の販路拡大に力を入れ、<u>私たち市民が一体となって「にぎわいをつくりだすまち」を目指します。</u></p>	<p>平戸市は時代とともに多くの異国文化を受け入れ、独自の歴史と文化を生み出し続けてきました。その歴史と文化はやがて<u>平戸市の「宝」となり、訪れる人々にやすらぎと癒しを与え続けてきました。</u></p> <hr/> <p>今後は、交通インフラの整備に伴う交流人口の拡大が予想されることから、平戸市の「宝」にさらなる磨きをかけ観光振興を図るとともに、農林水産業をはじめとした第一次産業、商工業の活性化に向けた取組みを促進します。また、積極的な企業誘致を行い、特産品の販路拡大に力を入れ、<u>市民が一体となってにぎわいのあるまちを創出します。</u></p>	<p>文言の修正。</p>
6③	<p>平戸市の人口減少を抑制するためには、市民がいつまでも「住み続けたい」、一旦離れても「また帰って来たい」と思えるよう、平戸市に対する愛着や誇りを育てていくことが重要です。また、<u>大都市や他の都市にはない平戸市独自の価値を見だし、訪れる人々が「住んでみたい」と思えるような魅力的なまちづくりも必要です。</u></p>	<p>平戸市の人口減少を抑制するためには、市民がいつまでも「住み続けたい」、一旦離れても「また帰って来たい」と思えるよう、平戸市に対する愛着や誇りを育てていくことが重要です。また、<u>訪れる人々が「住んでみたい」と思えるような魅力的なまちづくりも必要です。</u></p>	<p>文言の修正。</p>

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>まちづくりの主役は<u>私たち</u>市民一人ひとりです。そこで、それぞれの地域の特性を活かした学びの機会や、平戸市独自の歴史や文化、<u>自然</u>などに触れる機会を創出し、「<u>誇りを持てるまち</u>」を目指します。</p>	<p>まちづくりの主役は_____市民一人ひとりです。そこで、それぞれの地域の特性を活かした学びの機会や、平戸市独自の歴史や文化_____などに触れる機会を創出し、「<u>みんなで手を取り合い、にぎわいをつくり、誇りを持てるまち</u>」を創造します。</p>	
7	<p>第3章 市民からみた未来への意見</p> <p><u>本計画を策定するにあたり、平戸市のまちづくりにおける市民の意見を把握するためアンケート調査を実施しました。</u></p> <p><u>「第3章 市民からみた未来への意見」では、施策を展開するためのポイントとなる市民の意見を記載しています。</u></p>	<p>第3章 市民からみた未来への意見</p> <p>「平戸市未来創造羅針盤」を策定するにあたり、平戸市のまちづくりにおける市民の意向を把握するためアンケート調査を実施しました。</p> <p><u>施策の重要度が高くなっている項目は、「緊急医療体制」「医療施設の整備」などの医療分野と「企業誘致、雇用、就業対策」の産業振興・雇用対策の項目が高くなっています。本計画の未来実現のためには、これらの取り組みを優先的に行っていく必要があります。</u></p>	<p>文言の修正。</p>
9	<p>第4章 未来への<u>航海</u></p> <p><u>少子高齢化等の影響により、全国的に人口減少が進んでいます。人口減少は、平戸市においても地域</u></p>	<p>第4章 未来への<u>5つのポイント</u></p>	<p>章のタイトル修正。 章の説明文を追加。</p>

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>コミュニティの希薄化や主要産業の停滞など様々な分野に影響を及ぼしており、加えて時代の急激な変化への対応など、地域を取り巻く環境は厳しい状況にあります。</p> <p><u>「第4章 未来への航海」では、平戸市を取り巻く社会情勢や市民アンケートをふまえ、未来像を実現するために取り組むべき5つの主要課題を示しています。</u></p>		
9(1)	(1) <u>未来の羅針盤となる人をつくる</u>	(1) <u>「人」を磨く</u>	タイトルの修正。
9(1)	<p>日本の総人口は、約1億2,709万人(平成27(2015)年国勢調査)と平成20(2008)年をピークに人口減少が<u>進んでいます</u>。今後、ますます人口減少が進むことが予測され、本格的な人口減少社会を迎えることとなります。平戸市も例外ではなく、<u>新たな平戸市が誕生した平成17年に</u>38,389人だった人口は、平成27(2015)年では31,920人(平成27(2015)年国勢調査)<u>へと</u>確実に人口減少が進んでいます。</p> <p>また、人口減少とともに高齢化<u>も</u>急速に進んでおり、生活機能を維持する観点からも、若い世代や働</p>	<p>日本の総人口は、約1億2,709万人(平成27(2015)年国勢調査)と平成20(2008)年をピークに人口減少が<u>急速に進んでいます</u>。今後、ますます人口減少が進むことが予測され、本格的な人口減少社会を迎えることとなります。平戸市も例外ではなく、<u>平成17年は</u>38,389人だった人口は、平成27(2015)年では31,920人(平成27(2015)年国勢調査)<u>と</u>確実に人口減少が進んでいます。</p> <p>また、人口減少とともに高齢化<u>が</u>急速に進んでおり、生活機能を維持する観点からも、若い世代や働</p>	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>き盛り世代の流出を抑制していくことが求められます。 このようななか、平戸市では平成19(2007)年に「生涯学習都市宣言」を行い、</p>	<p>き盛り世代の流出を抑制していくことが求められます。 このような中、平戸市では「生涯学習都市宣言」を行い、</p>	
9(2)	(2) <u>まちの灯台を灯す絆を紡ぐ</u>	(2) <u>「絆」を深める</u>	タイトルの修正。
9(2)	<p>地域コミュニティは、住民同士の絆を深め、人口流出の抑制、子育て支援、産業の振興などに重要な役割を担っていることから、</p>	<p>地域コミュニティは、人口流出の抑制、教育、産業など重要な役割を担っていることから、</p>	文言の修正。
9(2)	地域の活性化を <u>進めていきます。</u>	地域の活性化を <u>図りながら、「ずっと住みたいまち」につなげていきます。</u>	文言の修正。
10 (3)	(3) <u>魅力を描いた帆をあげる</u>	(3) <u>「魅力」を輝かせる</u>	タイトルの修正。
10 (3)	<p>数多くの文化財を有するなど魅力あふれるまちです。</p>	<p>数多くの文化財を<u>有しています。</u></p>	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
10 (4)	(4) <u>強く漕ぎだす産業をつくる</u>	(4) <u>「産業」を高める</u>	タイトルの修正。
10 (4)	(4) 市民アンケート調査結果をみると「企業誘致や雇用対策、就業環境」の満足度は低く、重要度は高いという結果となっています。 <u>今後も、新たな仕事を生み出すための企業誘致、創業支援、及び市内企業等の振興に継続して取り組み、雇用創出につなげていきます。また、地域経済を支える産業である農林水産業については、地域資源の維持・活用や担い手の確保、生産体制の支援を行いながら、振興に向けた取組みを進めていきます。</u>	(4) 市民アンケート調査結果をみると「企業誘致や雇用対策、就業環境」の満足度は低く、重要度は高いという結果となっています。 <u>今後は、交通インフラの整備による交流人口の増加が望めることから、独自の歴史と文化を活かした観光産業の振興や、積極的な企業誘致を推進します。また、地域資源を活用した産業育成や新たな仕事を生み出すための創業支援を行うことにより産業の活性化を図るとともに、UJIターン者の雇用創出に取り組みます。</u>	文言の修正。
10 (5)	(5) <u>自ら経営の舵を切る</u>	(5) <u>「経営」を工夫する</u>	タイトルの修正。
11	未来への <u>航海</u> (5つのポイント)	未来への <u>5つのポイント</u>	第4章タイトル変更による修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
13 タイトル	～旅立ちへの心構え～	～旅立ちの準備～	サブタイトルの修正。
13	<p><u>私たちは、見定めた針路へ旅立つ心構えはできているでしょうか。</u></p> <p><u>平戸には先人たちから受け継いできた美しい自然、海外に飛躍してきた雄大な歴史、人々が愛しみ育んできた文化という平戸独自の「宝」があります。</u></p> <p><u>私たちはこの「宝」を大切に守り伝えてきました。</u></p> <p><u>しかし、未来への航海は決して穏やかではありません。夢あふれるまちへ帆を進めるには、守るだけでなく、この「宝」に磨きをかけ、今までにない輝きを魅せることが必要です。</u></p> <p><u>私たちにはこの地で生きてきた誇りと絆があります。手を取り、知恵を絞り、変化をもたらす勇気を携えて、私たちの描く未来を実現させましょう。</u></p> <p><u>そして、この輝きを受け継ぐ人々もまた新たな平戸の「宝」となることでしょう。</u></p>	<p><u>新たな平戸の未来を創造するためには、先人たちが、歴史・文化・自然を平戸独自の「宝」としてきたように、私たちもその「宝」を磨き、さらに輝かせていくことが大切です。</u></p> <p><u>平戸の「宝」、それは美しい自然、海外に飛躍してきた雄大な歴史、人々が愛しみ育ててきた文化であり、なによりこのまちに暮らす人々です。</u></p> <p><u>その「宝」を守り残すとともに、知り、磨き、輝かせることで改めて、「宝」の本当の価値を見出すことができるのではないのでしょうか？</u></p> <p><u>私たちにはいったい何ができるのか。何をしなければならぬのか。まずは、いまの平戸を見つめ、考えることから始めましょう。</u></p> <p><u>みんなで手を取り合い、知恵を絞れば、私たちが描いた未来図を形あるものにすることができると信じています。</u></p>	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	ここに描く「まちづくり設計図」を胸に、未知なる航海へ強い誇りを持ち旅立ちましょう。	ここに描く「まちづくり設計図」により、私たちの「宝」を光り輝かせ、誇りを胸に歩いていきましょう。	
14	<p>第1章 平戸市の構図</p> <p>本計画を策定するにあたり、平戸市がもつ豊かな資源や地域特性などを把握するとともに、長所を伸ばし、短所を克服していくことが重要です。</p> <p>「第1章 平戸市の構図」では、まちづくりを進めるにあたり、平戸市の地勢や年表、地域資源、人口や財政状況などの現状を示しています。</p> <p>第1節 平戸市のプロフィール</p>	<p>第1章 平戸市の構図</p> <p>第1節 平戸市__プロフィール</p>	章の説明文を追加。
14	平戸島は、平戸大橋により田平（本土）と、生月島は、生月大橋により平戸島と結ばれています。	平戸島は、田平と平戸大橋により_____、生月島は、平戸島と生月大橋で結ばれています。	
14	平成20（2008）年3月	平成20（2008）年4月	数字の訂正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
14	平戸オランダ商館開館____	平戸オランダ商館開館記念式典	文言の修正。
14	ふるさと納税寄附額が約15億円と全国の自治体で <u>日本一</u> となる	ふるさと納税寄附額が約15億円と全国の自治体で <u>最高額</u> となる	文言の修正。
14	平成27(2015)年3月「平戸市ずっと住みたいまち創出条例」制定	_____	項目の追加。
16 平戸 大橋	平戸 <u>瀬戸</u> を幻想的に	平戸の <u>瀬</u> を幻想的に	
16 田平天 主堂	<u>ロマネスク様式の赤レンガづくりの教会で、鉄川与助の代表作といわれています。</u>	<u>教会からは平戸瀬戸とそこに架かる平戸大橋が望めます。</u>	文言の修正。
16 あご (トビ ウオ)	<u>あごは秋に船曳網漁で漁獲される平戸の代表的な魚で、主に加工用の原料(焼きあご)として利用されています。</u>	あご(トビウオ)は平戸を代表する魚。近年、全国的なアゴだしブームにより、 <u>需要が高まっています。</u>	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
17	平戸市で調達できる「自主財源（市税、寄附金、使用料・手数料など）」の額は	平戸市で調達できる「自主財源（市税、寄附金、使用料・手数料など）」の割合は	文言の修正
17 18 円グラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附金（ふるさと納税） 16億円 ・使用料・手数料など ・（自主財源に「その他」を追加） ・（「議会費」を「その他」に包含） 	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附金 16億円 ・使用料・負担金 	右下円グラフ中の文言等を追加修正。
18	<p>支出の内訳をみると収入総額が増加した分、支出総額も増加していますが、<u>主な要因はふるさと納税関連費の増加によるものです。</u></p> <p><u>支出の内訳で額が最も大きいのは民生費であり、平成18（2006）年度では51億円（23.6%）、平成28（2016）年度では68億円（25.3%）となっています。</u></p>	<p>支出の内訳をみると収入総額が増加した分、支出総額も増加しています。<u>平成18（2006）年度では民生費が51億円（23.6%）と最も高い割合となっていますが、平成28（2016）年度でも民生費が68億円（25.3%）と最も高くなっていますが、ふるさと納税関連費の増加により総務費が53億円（19.7%）と民生費について高くなっています。</u></p>	文言の修正
19	<u>減少の一途をたどっています。</u>	<u>昭和55（1980）年以降一貫して減少しています。</u>	文言の修正。
19	平成27年 の全国の高齢化率は	平成27年度の全国の高齢化率は	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
19	「65歳以上」の割合が増加し続けていることから	「65歳以上」は一貫して高くなっていることから	文言の修正。
20	<p>「平戸市総合戦略」では、人口減少が緩やかになるという展望ですが、施策の進捗によっては推計を下回る可能性があり、予断を許さない状況にあります。</p> <p>人口減少は、産業・経済の衰退や財政の縮小に直結することから、常に危機感を持ち、今後も市民・行政が一体となって知恵を絞り、新たな施策を見だし、失敗を恐れずチャレンジしていかなくてはなりません。</p>	<p>平戸市では、人口減少、少子高齢化が急速に進行していることから、今後、労働力人口の減少や経済規模の縮小など、地方財政に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。</p> <p>人口ビジョンで掲げた平戸市総人口の目標値を実現するため、人口規模が縮小する中で、いまある様々な資源を十分に活かしたり、人材を中心とした新たな資源を掘り起こしていくことが必要となってきます。</p>	文言の修正。
21	<p>第2章 平戸市のデザイン</p> <p>平戸市の現状と課題をふまえ、まちづくりを総合的かつ計画的に進めていくため、計画の趣旨や位置づけを明確にする必要があります。</p> <p>「第2章 平戸市のデザイン」では、本計画を策定する目的、計画の構成、期間を示しています。</p>	第2章 平戸市のデザイン	章の説明文を追加。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
2 1	<p>「平戸市総合計画」策定から10年が経過する中で、少子高齢化による本格的な人口減少、国内での大規模な自然災害を契機とした市民の<u>防災意識の高まり</u>など私たちを取り巻く環境は急速に変化しています。また、<u>近年の情報通信技術の発達</u>は、生活の利便性や産業の生産性の向上とともに、人と人のつながり方など、私たちの<u>生活を大きく変えつつあります。</u></p>	<p>「平戸市総合計画」策定から10年が経過する中で、少子高齢化による本格的な人口減少、<u>東日本大震災や熊本地震</u>を契機とした市民の<u>防災への意識の変化</u>など私たちを取り巻く環境は急速に変化しています。また、<u>スマートフォンやインターネットの普及</u>など、近年の情報通信技術の発達は、生活の利便性や産業の生産性の向上とともに、人と人のつながり方など、私たちの<u>生活に大きな変化を与えています。</u></p>	
2 2	<p>(下段にある「平戸市未来創造羅針盤」の図を修正)</p>		
2 4	<p>第3章 みんなでやるばいプロジェクト</p> <p><u>平戸市全体でまちづくりを行っていくためには、本計画に掲げた未来像や主要課題をふまえ、市民の誰もが「ずっと住みたい」と思えるまちづくりの施策を体系的に推進していかなければなりません。</u></p> <p><u>「第3章 みんなでやるばいプロジェクト」では、平戸市が一体となって取り組む「まちづくりプロジェクト」と、市内7地域のまちづくりの指針と</u></p>	<p>第3章 みんなでやるばいプロジェクト</p>	<p>章の説明文を追加。</p>

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<u>なる「地域づくりプロジェクト」を示しています。</u>		
24	<u>まちづくりプロジェクト</u> では、10年後の平戸市の未来像を実現するため、市民と行政が一体となり、強い覚悟をもって、共通プロジェクトと6つの基本プロジェクトを中心にあらゆる取組みを行っていきます。	<u>平戸市未来創造羅針盤</u> では、10年後の平戸市の未来像を実現するため、市民と行政が一体となり、強い覚悟をもって、共通プロジェクトと6つの基本プロジェクトを中心にあらゆる取組みを行っていきます。	文言の修正。
26	_____	<u>高齢者の経験を活かした高齢者自身の就労機会の拡大</u>	項目の削除。
26	工業団地の整備による企業誘致の促進と新たな雇用の確保	工業団地の整備による企業誘致の促進と新たな雇用の確保	文言の修正。
26	<u>産業人材</u> の確保・育成と労力支援体制の整備	<u>新規就農者</u> の確保・育成と労力支援体制の整備	文言の修正。
26	<u>農業の生産規模拡大と省力化の推進</u>	_____	項目の追加。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
26	水産資源管理と <u>漁場</u> 環境保全の推進	水産資源管理と____環境保全の推進	文言の修正。
26	<u>戦略的な水産物の品質管理と流通販売体制の構築</u>		項目の追加。
26	農林水産品・加工品をはじめとした平戸産品の積極的な情報発信_____	農林水産品・加工品をはじめとした平戸産品の積極的な情報発信による認知度の向上	文言の修正。
27	地域で子育てを支える仕組みをつくり、 <u>子ども子育て世代から選ばれるまちを目指します。併せて、</u>	地域で子育てを支える仕組みをつくり、 <u>若い世代から出産・育児を平戸市でしたいと思われるまちを目指します。また、</u>	文言の修正。
27	共生社会の基盤となる <u>人権感覚と人権意識を育み、次代を担う子どもたちが、自ら行動する力を身につけることのできる教育を推進します。</u>	共生社会の基盤となる <u>人権感覚_____を育み、次代を担う子どもたちが、自ら行動する力を身につけることのできる教育を推進します。</u>	文言の修正。
27	<u>また、生涯いきいきと活躍できる人づくりを行</u>		文言の追加。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<u>い、その成果が地域社会に活かされる生涯学習を進めていきます。</u>		
27	多様化する市民の保育ニーズに対応する <u>子育て支援サービスの充実</u>	多様化する市民の保育ニーズに対応する、 <u>子育て支援サービス</u> 充実	文言の修正。
27	<u>妊娠・出産包括支援事業の充実</u>		項目の追加。
27	<u>子育て世代包括支援センターの整備</u>		項目の追加。
27	ICTを活用した教育や英語教育等の積極的な推進 <u>_____</u>	ICTを活用した教育や英語教育等の積極的な推進に <u>よる基礎学力の定着</u>	文言の修正。
27	生涯学習 <u>_____</u> の積極的な推進と人材育成の支援	生涯学習 <u>事業</u> の積極的な推進と人材育成の支援	文言の修正
27	<u>_____</u>	地域に根ざした図書館サービスの充実	項目の削除

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
28	<p>市民の健康づくりや生きがいくくり活動を促進するとともに、保健・医療体制、各種福祉の充実を図ります。<u>また、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の地域共生社会の実現を目指します。</u></p> <p>さらに、高齢者一人ひとりが、住み慣れた地域で、自分らしく<u>生きがいやゆとりをもって生活できるように健康寿命を延ばすための取組みを推進します。</u></p>	<p>市民の健康づくりや生きがいくくり活動を促進するとともに、保健・医療体制、各種福祉の充実を図ります。<u>また、地域で高齢者や障がいのある人、子ども等を見守り、支えることができる環境を整備し、住民主体または地域主体の地域福祉活動の活性化を図ることで誰もが安心して暮らせるまちを構築します。</u></p> <p>さらに、高齢者一人ひとりが、住み慣れた地域で、自分らしく<u>健康で生きがいやゆとりをもって生活し、健康寿命を延ばします。</u></p>	文言の修正。
28	地域医療体制の充実_____	地域医療体制の充実と関係機関との連携	文言の修正。
28	地域包括ケアシステムの構築	地域包括ケアシステムの推進	文言の修正。
28	_____生活習慣病予防対策の充実	健康づくりと生活習慣病予防対策の充実	文言の修正。
29	安心して快適に暮らし続けることができる環境の整備に努め	安心して快適に暮らすことができる環境の整備に努め	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
29	Uターン及びIターンを希望している世帯の意向に沿うことができる	Uターン及びIターンを希望している世帯の希望に沿うことができる	文言の修正。
29	UIターン 希望者等の受け入れ体制の整備と支援	UJIターン希望者等の受け入れ体制の整備と支援	文言の修正。
29	_____	<u>安心して生活できる医療体制の充実</u>	項目の削除。
31	<p>少子高齢化に伴う人口減少が進むなかで、高度化・多様化する市民ニーズや社会情勢の変化や、<u>様々な地域課題に柔軟に対応できる自治体経営を推進します。</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>また、_____財政健全化計画（第2次計画）に基づき、「財政収支の均衡」を基本目標として、行政改革推進計画、定員適正化計画及</p>	<p>少子高齢化に伴う人口減少が進むなかで、高度化・多様化する市民ニーズや社会情勢の変化_____に柔軟に対応できる自治体経営が求められています。</p> <p><u>また、併せて住民生活や価値観の多様化による様々な地域課題に対応するため、地域を支えるコミュニティ組織と行政が共通の目的に向かって、持続していく地域に取り組まなければなりません。</u></p> <p>このようななか平戸市では財政健全化計画（第2次計画）に則り、_____「財政収支の均衡」を基本目標として、行政改革推進計画、定員適正化計画及</p>	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>び公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、将来を見据えた健全な行財政運営を<u>目指します。</u></p> <p>さらに、<u>多様化する地域課題や行政課題に対して、積極的に取り組む職員の育成と資質向上に努めます。</u></p>	<p>び公共施設等総合管理計画と整合性を図りながら、将来を見据えた健全な行財政運営を<u>確立します。</u></p> <p>また、<u>多様化する地域課題や行政課題に対して、積極的に取り組む職員の育成と資質向上に努めます。</u></p>	
3 2	<p><u>直売所などの多様な販路を活かし、「稼げる地域産業」を推進していきます。</u></p>	<p>今後もさらに振興を図り<u>、稼げる地域産業」を推進していきます。</u></p>	文言の修正。
3 2	<p>沿岸漁業及び養殖業など<u>地域の特性に応じた水産業の振興</u></p>	<p>沿岸漁業及び養殖業など<u>地域特有の産業の振興</u></p>	文言の修正。
3 3	<p>豊かな自然に<u>囲まれた環境を活かし、園芸や畜産などの農業が盛んに営まれています。</u></p> <p><u>これらの「恵み」をのばし、担い手の育成に取り組む中心的な地域として産業振興に努めていきます。</u></p>	<p>豊かな自然に<u>囲まれ、そのなかで営まれる第一次産業は、施設園芸と畜産業をはじめとして盛んに行われています。</u>これらの「恵み」をのばし、<u>産業振興に努めていきます。</u></p>	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
33	園芸、畜産などの特色ある <u>第一次産業</u> の振興	施設園芸、畜産業などの特色ある <u>産業</u> の振興	項目の修正。
34	第一次産業の振興としては、ヒラメやウチワエビ、イカなどの <u>特色ある水産資源を活かした</u> 沿岸漁業の振興と、水稻、施設園芸、露地栽培、和牛などの農業振興を図ります。	<u>産業振興</u> _____ としては、ヒラメや <u>うちわえび</u> 、イカなどの <u>豊富な海の恵みに囲まれた</u> 沿岸漁業の振興と、水稻、施設園芸、露地栽培、和牛などの農業振興を図ります。	文言の修正。
35	<u>人情味</u> あふれるまちづくり	<u>人情</u> あふれるまちづくり	文言の修正
35	<u>食を</u> _____ 観光に結びつけ	<u>食を通した</u> 観光に結びつけ	文言の修正。
35	漁場環境の整備 <u>などによる</u> 沿岸漁業の振興	漁場環境の整備 <u>や水産資源確保等による</u> 漁業振興	文言の修正。
37	平戸市の <u>なか</u> でも最も人口減少が著しい大島地区では、「後継者や移住・定住者を増加させる」ことを目標としてまちづくりを進めていきます。 産業振興としては、畜産、 <u>葉たばこ、種ばれいし</u>	平戸市の <u>中</u> でも最も人口減少が著しい大島地区では、「後継者や移住・定住者を増加させる」ことを目標としてまちづくりを進めていきます。 産業振興としては、畜産、 <u>葉タバコ、種馬鈴薯</u>	文言の修正。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>よを主とした農業の生産基盤の整備や、小型定置網漁・一本釣りなどの沿岸漁業の振興を図るとともに、<u> </u>特産品開発や体験型観光を展開し、交流人口の拡大により短期滞在から定住へとつなげていきます。</p>	<p><u> </u>を主とした農業、イカ等の一本釣り漁業を主とした小型船舶による <u> </u>沿岸漁業の振興を図るとともに、<u>地域振興としては</u>特産品開発や体験型観光を展開し、交流人口<u> </u>拡大により短期滞在から定住へと繋げて <u> </u>いきます。</p>	
37	<p><u>基幹産業である第一次産業の推進</u></p>	<p><u>安心して子どもを生み、育てられる地域づくり</u></p>	<p>項目の修正。</p>